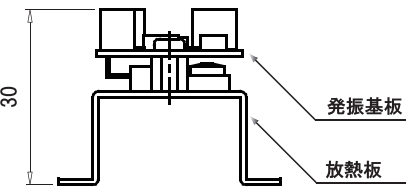
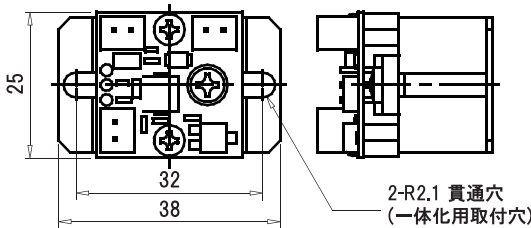


型式	JMU-24A01	JMU-30A01
公称発振周波数	2.4MHz	3.0MHz
電源	DC24V	
消費電力	12VA	14VA
適正水位	通常時:振動子-水面間 36mm±5mm ホーン取付時:振動子-水面間 43mm±5mm	通常時:振動子-水面間 44mm±5mm ホーン取付時:振動子-水面間 42mm±5mm
使用温度範囲	5°C~35°C ※性能を保障するものではありません (液剤を凍結させないこと)	
中心霧化粒子径	3μm以下	2.8μm以下
外形寸法	基板・放熱板:幅 38mm × 奥行 25mm × 高さ 30±3mm	
質量	発振回路基板:約10g 束線:約6g 振動子Assy:約9g ホーン:約2g	
回路冷却方式	強制空冷	
構成品	発振回路基板、JMU-24A01用振動子ASSY 電源束線、フロートスイッチ束線、ホーン	発振回路基板、JMU-30A01用振動子ASSY 電源束線、フロートスイッチ束線、ホーン
標準小売価格(税込)	16,280円	18,480円

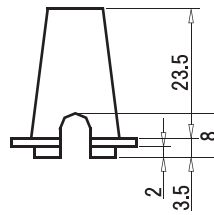
各部の名称・寸法

<発振回路基板> 質量:約10g



<ホーン> 質量:約2g

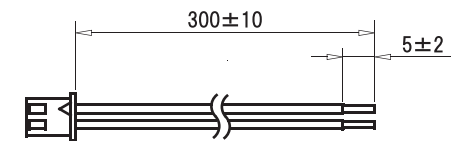
・材質:ABS
ホーンを接着するときはABS専用の接着剤をご使用下さい。



<電源束線・フロートスイッチ束線>

・電源束線 質量:約3g
線色-赤と黒 コネクタ色-赤

・フロートスイッチ束線 質量:約3g
線色-青 コネクタ色-青

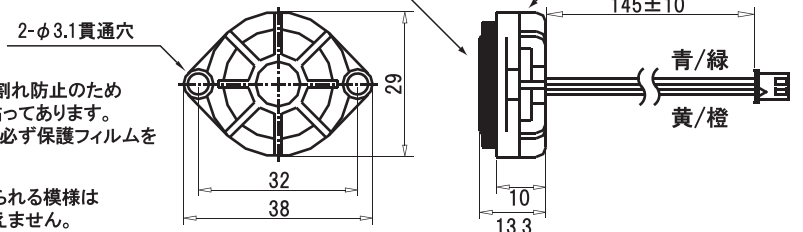


<振動子ASSY>

質量:約9g

※振動子表面には割れ防止のため保護フィルムが貼ってあります。使用されるときは必ず保護フィルムを剥がして下さい。

※振動子表面に見られる模様は性能に影響を与えません。

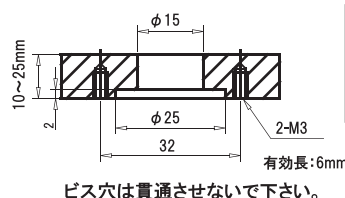


水槽について

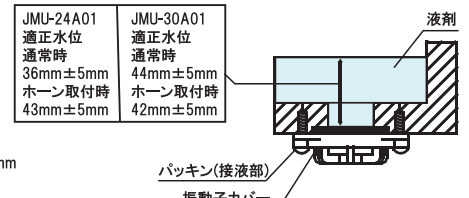
水槽設計をされる時、以下のことを考慮して下さい。

- ・動作時には水柱が立ち上がるため、水滴が飛散しないよう設計して下さい。特にホーン取付時はより高く水柱が立ち上がります。
- ・霧を外に出したいときは、ファンなどで風を水槽内へ送り、噴霧させて下さい。
- ・お使いの水槽の形状、液剤の使用水温によっては霧化能力が激しく増減します。
- ・振動子はパッキンにはめ込まれているだけの構造です。振動子カバーをビスで締付けてパッキンを潰すことで防水になります。必ず右図の「振動子取付部加工寸法図」通りに加工して下さい。

<振動子取付部加工寸法図>



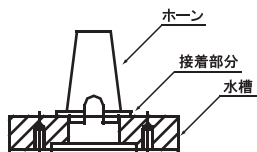
<JMU-24A01、JMU-30A01振動子取付図>



取り付けについて

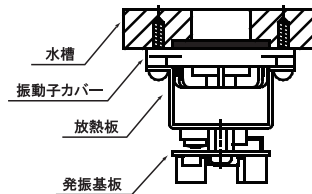
●ホーン取り付け

ホーンは固定をしていないと水中で浮いてしまいます。接着もしくは固定できるような水槽の設計などをして下さい。接着するときは振動子を取り付ける前に行ってください。



●基板と一体での取り付け例

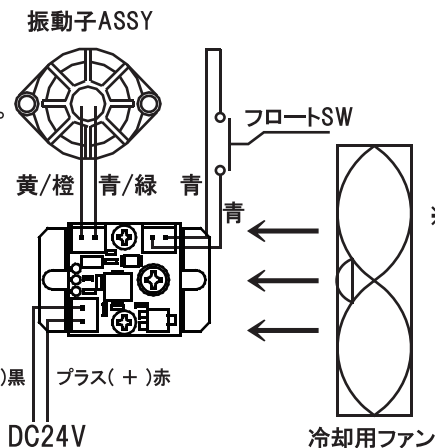
振動子カバー、放熱板、水槽の穴位置を合わせて下図のような取り付けが可能です。よりコンパクトな配置になります。



回路配線について

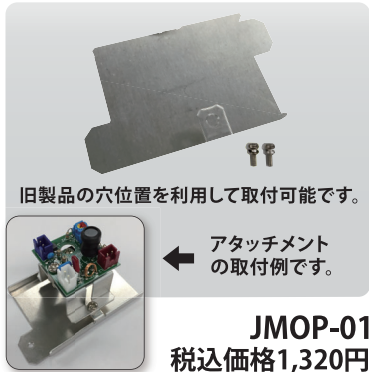
電源束線は基板にある赤色のコネクタに接続して下さい。振動子ASSYは基板にある白色のコネクタに接続して下さい。フロートスイッチ束線は基板にある青色のコネクタに接続して下さい。接続するコネクタを間違えて動作させてしまうと故障する恐れがあります。ご注意ください。
図ではフロートスイッチを使用しておりますがフロートスイッチ束線の青線同士を接続してショートさせることで動作を開始します。そのとき、振動子が水に浸かっていない状態で動作しないようにして下さい。空焚きにより振動子が短時間で故障します。

※振動子と発振基板間の線の長さは300mm以内に収めて下さい。故障もしくは動作しない恐れがあります。



※動作させるときには図のように冷却用のファンで放熱板を強制空冷して下さい。冷却用のファンは風量が約14CFM以上の状態でご使用下さい。

HM2412形状アタッチメント



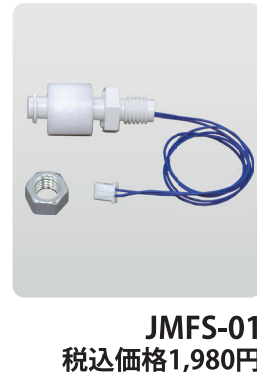
実験セット



実験用水槽



フロートスイッチ



カタログ上のご注意

- このカタログの記載内容は、2022年3月現在のものです。
- 仕様及び外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。
- カタログと実際の商品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。

その他注意事項はホームページをご覧ください。

- ※水温が低い時、振動面に泡が付着すると霧化量が減少します。また、水温が高いときは霧化量が増加します。
- ※振動面は汚れがたまったり、泡が付着すると霧の出が悪くなるので定期的に綿棒で清掃して下さい。
- ※振動子assyは水没式ではありません。水に浸けないようにして下さい。
- ※精密機器や心臓ペースメーカーなどの近くで使用しないで下さい。
- ※振動子Assyの束線は30cm以上に延長しないで下さい。
- ※水槽を金属で設計するとき、振動子表面(+24V)と電位差が生じない設計にしてください。
- ※水・純水・微酸性次亜塩素酸水溶液(次亜塩素酸濃度50ppm以下)以外にはご利用 になれません。

詳細はWEBで!



は当社登録商標です。

と本物電子株式会社、は本多電子株式会社登録商標です。

22-121

<発売元>



〒441-3131 愛知県豊橋市大岩町小山塚 20

TEL (0532)65-5158 FAX (0532)65-5159

URL <https://www.echotech.co.jp/>

ShopURL <https://www.rakuten.co.jp/us-dolphin/>

<製造元>



URL <https://www.honda-el.co.jp/>

<お問合せは>